

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 4 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境の改善による消費の持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調が続きました。一方、海外経済の不確実性など先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の下、当社グループの事業概況といたしましては、以下のとおりとなりました。

売上高は、主に航空機エンジン部品や空港店舗、免税店舗販売が増加したことなどにより、前年同期比2,433百万円(107.3%)増収の35,726百万円となりました。売上総利益は、売上高の増加により、前年同期比380百万円(107.1%)増益の5,761百万円となりました。

販売費及び一般管理費は、空港店舗や免税店舗販売の増加に伴い歩合家賃が増加したことなどにより、前年同期比205百万円増加となりました。

営業外収益・営業外費用は、持分法による投資利益が増加しました。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比247百万円(158.2%)増益の674百万円となりました。

| 連結業績 (金額単位：百万円) | 前第1四半期 (平成28年4～6月) | 当第1四半期 (平成29年4～6月) | 前年同期比 (%) | 前年同期差 |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------|-------|
| 売上高 | 33,292 | 35,726 | 107.3 | 2,433 |
| 売上総利益 | 5,381 | 5,761 | 107.1 | 380 |
| 営業利益 | 739 | 914 | 123.7 | 175 |
| 経常利益 | 748 | 1,054 | 140.9 | 306 |
| 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | 426 | 674 | 158.2 | 247 |

[セグメントの概況]

セグメント別の概況につきましては以下のとおりです。各業績数値は、セグメント間の内部売上高及び振替高、配賦不能営業費用(管理部門の費用等)調整前の金額です。

なお、当第1四半期連結会計期間より、組織変更等に伴い、前連結会計年度まで「航空・空港関連事業」に分類していた印刷・用紙及び一部特殊車両・設備資材関連事業を「ライフサービス事業」に、「フーズ・ビバレッジ事業」に分類していた贈答用食品関連事業を「リテール事業」に移管しました。また、報告セグメントに帰属していなかった前連結会計年度新設部署を各報告セグメントに移管しております。以上のセグメント変更に伴い、各報告セグメントの前第1四半期連結累計期間の数値を当第1四半期連結累計期間の表示に合わせて組換再表示しています。

① 航空・空港関連事業

当セグメントでは、主に航空機関連での航空機や航空機部品(エンジン部品等を含む)、機材関連での空港特殊車両や整備用機材などの販売を行っています。

航空機関連は、主力である重工業向け航空機エンジン部品や産業用ガスタービン部品の販売が増加し、また機材関連での整備用機材などの販売も増加し、好調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高14,196百万円、営業利益188百万円と、それぞれ増収・増益となりました。

| 航空・空港関連事業 (金額単位：百万円) | 前第1四半期 (平成28年4～6月) | 当第1四半期 (平成29年4～6月) | 前年同期比 (%) | 前年同期差 |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------|-------|
| 売上高 | 12,412 | 14,196 | 114.4 | 1,783 |
| 営業利益 | 159 | 188 | 118.5 | 29 |

② ライフサービス事業

当セグメントでは、主に不動産関連での不動産販売・分譲・仲介・賃貸、施設管理、介護関連施設賃貸・運営、保険関連での損害・生命保険の保険代理店業、環境関連での道路補修材などの販売を行っています。

不動産関連は、本年4月に開業したサービス付アパートメント「L'axe Sriracha (ラグゼ・シラチャ)」(タイ王国)の開業費用が発生し、また前第1四半期の国内事業用不動産販売の反動減などにより前年を下回りました。保険関連は、法人向け保険の拡大などにより、順調に推移しました。環境関連は、米国の連結子会社Aqua Patch Road Materials, L. L. C.における道路補修材「AQUA PATCH (アクアパッチ)」*の販売体制強化に伴う費用などが発生しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高2,723百万円、営業利益250百万円と、それぞれ減収・減益となりました。

*AQUA PATCH：水をかけるだけで素早く硬化する特徴をもつ道路補修材

| ライフサービス事業 (金額単位：百万円) | 前第1四半期 (平成28年4～6月) | 当第1四半期 (平成29年4～6月) | 前年同期比 (%) | 前年同期差 |
|-------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------|-------|
| 売上高 | 3,572 | 2,723 | 76.2 | △848 |
| 営業利益 | 326 | 250 | 76.8 | △75 |

③ リテール事業

当セグメントでは、主に空港店舗、空港免税店舗、免税店舗向け卸販売、通信販売、贈答用食品販売、外食業などを行っています。

空港店舗関連は、株式会社JALUXエアポートが運営する「BLUE SKY」が好調に推移しました。ブランド・免税関連は、国内空港免税店舗(成田・羽田空港)や免税店舗向け卸販売が、訪日外国人数増加や日本製品の需要増加などにより、好調に推移しました。また海外空港免税店舗(ベトナム社会主義共和国 ノイバイ国際空港)は順調に推移しました。通信販売関連は、販促施策強化によりインターネット通販が伸張り順調に推移しました。贈答用食品関連は、百貨店向けなどの販売が減少しました。外食関連は、前期(昨年9月)にフレンチレストランが開業し、増収となりました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高12,595百万円、営業利益620百万円と、それぞれ増収・増益となりました。

| リテール事業 (金額単位：百万円) | 前第1四半期 (平成28年4～6月) | 当第1四半期 (平成29年4～6月) | 前年同期比 (%) | 前年同期差 |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------|-------|
| 売上高 | 11,457 | 12,595 | 109.9 | 1,137 |
| 営業利益 | 466 | 620 | 133.0 | 154 |

④ フーズ・ビバレッジ事業

当セグメントでは、主に農水産物、ワイン、加工食品などの販売を行っています。

水産関連は、主力であるサバやサーモンなどの水産物販売を中心に増加し好調に推移しました。農産関連は、主力であるパプリカなどの西洋野菜の販売減少や一部国産品の供給増による輸入青果の需要減などにより、低調に推移しました。ワイン・加工食品関連は、ブランド力のあるワインを中心にホテル・レストラン向け業務用卸販売や当社オリジナル菓子類などの公共交通施設向け卸販売の増加により、好調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高6,474百万円、営業利益291百万円と、それぞれ増収・増益となりました。

| フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円) | 前第1四半期 (平成28年4～6月) | 当第1四半期 (平成29年4～6月) | 前年同期比 (%) | 前年同期差 |
|---------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------|-------|
| 売上高 | 6,069 | 6,474 | 106.7 | 405 |
| 営業利益 | 216 | 291 | 135.0 | 75 |

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

配当金や法人税の支払いにより現預金が減少しました。一方で、航空機関連の売掛金が増加しました。
その結果、総資産は前連結会計年度末と比較して639百万円減少し、43,295百万円になりました。

(負債)

仕入債務の支払い、法人税の支払いを行いました。また、短期借入金の返済を行いました。
一方で、コマーシャル・ペーパーの発行を行いました。
その結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して510百万円減少し、21,979百万円になりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益を計上した結果、利益剰余金が増加しました。
一方で、為替の変動により為替換算調整勘定が減少しました。また、配当により非支配株主持分が減少しました。
その結果、純資産は前連結会計年度末と比較して128百万円減少し、21,316百万円になりました。
また、自己資本比率は0.6ポイント増加し、46.2%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において通期の業績予想の変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,258,404 | 4,766,865 |
| 受取手形及び売掛金 | 13,604,220 | 14,392,801 |
| たな卸資産 | 11,071,622 | 10,654,678 |
| その他 | 4,050,505 | 4,193,223 |
| 貸倒引当金 | △27,039 | △25,943 |
| 流動資産合計 | 34,957,714 | 33,981,625 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 4,215,411 | 4,425,352 |
| 無形固定資産 | 399,797 | 379,626 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 4,387,929 | 4,534,888 |
| 貸倒引当金 | △25,936 | △25,732 |
| 投資その他の資産合計 | 4,361,993 | 4,509,155 |
| 固定資産合計 | 8,977,202 | 9,314,134 |
| 資産合計 | 43,934,917 | 43,295,759 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 9,746,049 | 8,830,616 |
| 短期借入金 | 3,503,153 | 3,045,082 |
| 未払法人税等 | 745,123 | 269,513 |
| 未払費用 | 3,011,991 | 2,915,816 |
| その他 | 2,493,668 | 3,680,101 |
| 流動負債合計 | 19,499,985 | 18,741,130 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,159,701 | 2,395,306 |
| 退職給付に係る負債 | 35,429 | 35,695 |
| その他 | 794,606 | 807,069 |
| 固定負債合計 | 2,989,737 | 3,238,071 |
| 負債合計 | 22,489,722 | 21,979,201 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,558,550 | 2,558,550 |
| 資本剰余金 | 688,723 | 688,723 |
| 利益剰余金 | 17,130,525 | 17,172,013 |
| 自己株式 | △134,674 | △134,674 |
| 株主資本合計 | 20,243,124 | 20,284,612 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,314 | 28,661 |
| 繰延ヘッジ損益 | 22,908 | 24,216 |
| 為替換算調整勘定 | △183,270 | △279,208 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △60,886 | △56,988 |
| その他の包括利益累計額合計 | △217,933 | △283,320 |
| 非支配株主持分 | 1,420,003 | 1,315,265 |
| 純資産合計 | 21,445,194 | 21,316,557 |
| 負債純資産合計 | 43,934,917 | 43,295,759 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 33,292,937 | 35,726,306 |
| 売上原価 | 27,911,914 | 29,964,695 |
| 売上総利益 | 5,381,022 | 5,761,611 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 荷造運搬費 | 384,491 | 383,013 |
| 給料及び手当 | 1,614,561 | 1,685,942 |
| 退職給付費用 | 61,545 | 61,206 |
| 減価償却費 | 93,717 | 116,897 |
| 貸倒引当金繰入額 | △22,419 | △745 |
| 賃借料 | 970,859 | 1,015,290 |
| その他 | 1,538,837 | 1,585,172 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 4,641,592 | 4,846,777 |
| 営業利益 | 739,429 | 914,833 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3,478 | 2,192 |
| 受取配当金 | 16,856 | 22,309 |
| 持分法による投資利益 | 49,060 | 115,177 |
| 為替差益 | - | 2,368 |
| その他 | 17,561 | 23,907 |
| 営業外収益合計 | 86,956 | 165,954 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 14,084 | 19,821 |
| 支払手数料 | 2,437 | 1,232 |
| 為替差損 | 56,757 | - |
| その他 | 5,068 | 5,407 |
| 営業外費用合計 | 78,348 | 26,462 |
| 経常利益 | 748,037 | 1,054,326 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 202 | 269 |
| 特別利益合計 | 202 | 269 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 10,691 | 109 |
| 子会社清算損 | 27,311 | - |
| 特別損失合計 | 38,003 | 109 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 710,236 | 1,054,486 |
| 法人税等 | 242,710 | 301,936 |
| 四半期純利益 | 467,525 | 752,550 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 41,457 | 78,485 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 426,068 | 674,064 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 四半期純利益 | 467,525 | 752,550 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △11,661 | 24,581 |
| 繰延ヘッジ損益 | △70,922 | 1,307 |
| 為替換算調整勘定 | △216,889 | △94,530 |
| 退職給付に係る調整額 | 5,165 | 3,897 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | △20,735 | △3,909 |
| その他の包括利益合計 | △315,043 | △68,653 |
| 四半期包括利益 | 152,482 | 683,896 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 123,110 | 608,677 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 29,371 | 75,218 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損 益計算書計上 額(注2) |
|-----------------------|---------------|---------------|------------|-----------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 航空・空港関 連事業 | ライフサービ ス事業 | リテール事 業 | フーズ・ビバ レッジ事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,408,650 | 3,552,963 | 11,446,128 | 5,885,195 | 33,292,937 | — | 33,292,937 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 3,598 | 19,669 | 11,668 | 184,342 | 219,278 | △219,278 | — |
| 計 | 12,412,248 | 3,572,632 | 11,457,796 | 6,069,537 | 33,512,215 | △219,278 | 33,292,937 |
| セグメント利益 | 159,425 | 326,499 | 466,572 | 216,251 | 1,168,748 | △429,319 | 739,429 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△429,319千円には、セグメント間取引消去1,138千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△430,460千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注1) | 四半期連結損 益計算書計上 額(注2) |
|-----------------------|---------------|---------------|------------|-----------------|------------|-------------|---------------------------|
| | 航空・空港関 連事業 | ライフサービ ス事業 | リテール事 業 | フーズ・ビバ レッジ事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 14,189,372 | 2,688,055 | 12,581,014 | 6,267,864 | 35,726,306 | — | 35,726,306 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 6,815 | 35,685 | 14,027 | 207,105 | 263,633 | △263,633 | — |
| 計 | 14,196,187 | 2,723,740 | 12,595,042 | 6,474,969 | 35,989,940 | △263,633 | 35,726,306 |
| セグメント利益 | 188,898 | 250,865 | 620,760 | 291,936 | 1,352,460 | △437,627 | 914,833 |

(注) 1. セグメント利益の調整額△437,627千円には、セグメント間取引消去9,173千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△446,800千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

当第1四半期連結会計期間より、組織変更等に伴い、前連結会計年度まで「航空・空港関連事業」に分類していた印刷・用紙及び一部特殊車両・設備資材関連事業を「ライフサービス事業」に、「フーズ・ビバレッジ事業」に分類していた贈答用食品関連事業を「リテール事業」に移管しました。また、報告セグメントに帰属していなかった前連結会計年度新設部署を各報告セグメントに移管しております。以上のセグメント変更に伴い、各報告セグメントの前第1四半期連結累計期間の数値を当第1四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しています。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。